年

月



日

## 送付先 NPO法人 東北外科臨床研究推進機構 NEXTSURG

Fax:022-797-3449 E-mail: nextsurg@poem.ocn.ne.jp

受付時間 平日 9:00~17:00 (土・日・祝祭日、時間外の登録手続きは翌受付日以降となります。) 本書の項目を全て記入し、適格性をご確認の上、研究事務局にメール(PDFファイル)または、Faxにてご連絡下さい。

## 膵癌術前化学療法としての Gemcitabine+TS-1 療法の第 Ⅱ 相臨床試験

(GS 療法2+2コース: NACGS2+2)

## 登録申請書

記入日 (西暦)

施設・診療科								ž	当医			
連絡先	TEL						FAX					
患者情報	性別:口男	] 口女	生年月日:	年	月	日	年齢	歳	身長	:: cm	体重:	kg
施設内患者匿	名化番号						治療開	冶予定日		年	月	日
適格基準(Yes, No 口欄にチェックして下さい) ※灰色部分は、不適格となります。										Yes	No	
(1) 臨床的に通常型膵癌と診断される(細胞診・組織診がある事が望ましい)												
(2) 遠隔転移を有しない												
(3) 肉眼的癌遺残のない(R0,1)切除が可能と判断される												
(4) 病巣摘除に必要な根治手術(膵頭切除、膵体尾部切除、膵全摘)に耐術可能												
(5) 初回治療例												
(6) 推定可能病変を有する症例												
(7) PS(ECOG 分類)が 0~1 の症例												
(8) 主要臓器(骨髄・肝・腎・肺等)の機能が保持されている症例( <b>検査日<sup>価階</sup> 年 月 日</b> ) ※下記 1)~ 8)の個々の項目の検査日は上に記載した日と異なる検査日の場合のみ記載して下さい。												
1) 白血球	数 3,500	/mm³	(検3	<b>全日</b> (西層)	年		月	日検査	値	/mm <sup>3</sup> )		
2) 好中球	数 2,000	/mm³ 以上		全日 <sup>(西層)</sup>	年	•	月	日検査	値	/mm <sup>3</sup> )		
3) 血小板	数 100,000	/mm³以_	上 (検査	<b>上日</b> (西曆)	年		月	∃ 検査	値	×10 <sup>4</sup> /mm <sup>3</sup> )		
4) 血色素:		0g/dl 以_	•	<b>奎日<sup>(西暦)</sup></b>	年			∃ 検査	値	g/dl)		
5) GOT(AS		LT) 150 U <b>食査値</b>	I/L 以下( <b>検</b> : <b>/</b>	査日 <sup>(西暦)</sup> IU/I	年 [ 施設]	戶 正常	-	3	/	IU/L)		
	レビン 2.0 r 直に対する派		(	<b>を日 <sup>(西暦)</sup></b> は 3.0 mg/dL !	<b>年</b> 以下とする。	月	日	検査値	直	mg/ml)		
7) クレアラ	チニン:1.2m	g/dl 以下	(検3	<b>全日</b> (西曆)	年	月	日	検査値	Ī	mg/dl)		
8) クレアチ	ニンクリアラ	ンス推定値	直 60ml/min 以	以上 <b>(検査日</b>	(西暦)	ŧ	月	日:	検査値	mg/dl)		
(9) 経口摂取7	が可能な症	例										
(10) 本試験の	波験者となる	ることをオ	人より文書に	こて同意が得	得られてい <b>同意耳</b>	_	日(西層)		年	月 日		
除外基準 (Yes, No 口欄にチェックして下さい) ※灰色部分は、不適格となります。											Yes	No
(1) 肺線維症または間質性肺炎を有する症例												
(2) 浸潤性膵管癌以外の膵腫瘍(腺房細胞癌、ラ島腫瘍、嚢胞性腫瘍、など)が疑われる												
(3) 遠隔転移を認める												
(4) 切除時肉眼的癌遺残が予想される												
(5) 根治手術に耐術困難												
(6) 化学療法・放射線化学療法など抗腫瘍治療が既に施行された症例 (7) 活動性の重複癌を有する												
(8) 活動性の感染症を有する(発熱 38.0 °C以上)												
(9) フルシトシン、フェニトイン、ワルファリンを使用している症例												
(10) 妊娠中、妊												
(11) 未成年者(												
(12) その他主流	(12) その他主治医が本試験を安全に実施するのに不適当と判断される											